



認知症を“知る”から “ともに生きる”へ

参加
無料

令和8年

9.26 土 13:30 ▶ 15:30

会場

みとよ未来創造館 (旧高瀬町農村環境改善センター)

三豊市高瀬町下勝間2347番地1

1部

【講演】

「認知症とともに暮らせる地域とは」

講師 高知県立大学 教授 矢吹知之 氏



2部

【意見交換会】

「ここで生きる、みんなで支える

～私たちがつくる、認知症になっても安心なまち～」

定員

150名 (要申込)

問い合わせ:三豊市地域包括支援センター

電話

0875-73-3021

申込は
こちら→



住所

〒767-8585 三豊市高瀬町下勝間2373番地1

※気象警報等発令時は中止となります。

講師紹介

矢吹 知之(やぶき ともゆき)氏

高知県立大学 社会福祉学部 教授 / 博士(教育情報学)。
認知症介護研究・研修仙台センターの主任研究員などを経て現職。
専門は高齢者福祉や認知症ケア。認知症になっても安心して自分らしく暮らせる「地域共生社会」の実現を目指し、全国の地域づくりや当事者支援の現場に深く関わっている。当日は、全国の先進的な事例を交えながら、私たちのまちで明日からできる工夫について分かりやすくお話しいたします。

意見交換会（パネラー紹介）

【当事者の視点から】西香川病院 当事者 相談員

塾の講師をしていた令和5年頃より、生徒の名前が出てこないなど異変を感じ、令和7年に塾を閉講。同年8月、「レビー小体型認知症」と診断を受け、現在は、病院の当事者相談員として同じ当事者を支える活動を行っています。

【地域の見守りから】チームオレンジ「なごみ」代表者

認知症について正しい知識を持つ「認知症サポーター」が中心となり、認知症の人やそのご家族を地域でお手伝いするチームです。仁尾地区を中心に活躍されています。

【介護の視点から】デイサービスセンターにお荘 施設長

「あなたが活躍できる場所」をコンセプトに、他者や地域のためになる活動を通して、一人ひとりの役割やできることを大切にしています。心も体も、いきいきと活躍できるデイサービスの提供を行っています。

【医療の視点から】認知症疾患医療センター 相談員(西香川病院)

医療の立場から、当事者やご家族が地域で安心して暮らしていくためのヒントや、専門外来で行われている認知症の人の心情に着目した心理的支援についてお話しいたします。

【行政の視点から】地域包括支援センター 職員

認知症に関する困りごとや将来の不安をいつでも相談できる総合窓口です。保健師や社会福祉士などの専門職がチームとなり、ご本人とご家族の気持ちに寄り添いながら、安心して暮らせる仕組みやサービスを一緒に考え、地域全体で温かく支える体制をつくっています。

